

日本経済新聞

3月14日
水曜日

宿泊予約のサイト作成

たび寅、東京に支社

九州も検討

旅館・ホテル向けに予約システム付きのホームページの作成を手掛けるたび寅（諏訪市、秋山晶子社長）は全国展開を強化する。顧客拡大に合わせるため、東京に支社を設けたほか、九州に設置することも検討している。顧客の近くに拠点を置き頻繁に訪問できる体制をつくり、サービス向上につなげる。

東京支社（東京・世田谷）を設け、諏訪市で研修した2人を常駐させ

た。同社は食事やサービス内容などのコンサルティングまで実施しており、写真も季節ごとなど頻繁に入れ替えるため年に何度も足を運ぶ必要がある。長野から東京を経由して全国の宿泊業者を訪れており、「顧客に行く回数を増やしてサービスを向上させるには東京に拠点が必要」（秋山社長）と判断した。

同社のホームページ作成サービスの顧客は現在約170件。営業部隊は

置いているが、宿泊業者や金融機関などの口コミで年20件のペースで拡大が続いている。長野以外の顧客も70件程度まで拡大しており、「年内にも九州に拠点をつくりたい」（秋山社長）と話している。

たび寅はリクルートの旅行情報誌「じゃらん」で働いていた秋山社長が立した。

2004年に独立して設